

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・活用しております。	
	2	6		国の定める配置基準を満たしたうえで、基準以上の人員数を配置しております。	
	3	5	1	国の定める配置基準を満たしたうえで、基準以上の人員数を配置しております。	必要に応じて玄関入り口のバリアフリー化を協議・検討してまいります。
	4	6		衛生管理に配慮し、空気清浄機の使用と換気をおこない、机・椅子などは使用後に除菌や清掃をして、気持ちの良い空間を提供できるように努めております。	
業務改善	5	6		必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用できるような環境を整えています。また、衛生管理に配慮し、空気清浄機の使用と換気をおこない、机・椅子などは使用後に除菌や清掃をして、気持ちの良い空間を提供できるように努めております。	
	6	6		毎日の朝礼で業務の連絡、療育内容の確認など、話し合いの場を設けております。また月に一回、全職員参加のリフレクシオン会議を実施し、日々の振り返りや業務改善について話し合い、共通理解に努めております。	
	7	6		保護者様アンケート調査での集計内容を職員間で共有しながら、可能な限り業務改善へ繋げられるよう努めております。	
	8	6		月に一回会議を実施し、日々の振り返りや業務改善について話し合い、共通理解に努めております。	
適切な支援の提供	9	4	2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	今年度から第三者委員として監査役に依頼をしております。
	10	6		定期的に研修を実施し、全職員が閲覧できるように内容を記録に残し、資質向上に努めております。	
	11	6		支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。
	12	6		アセスメントにて状況の把握を行い、児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状や保護者様のニーズに寄り添った支援計画となるよう努めております。	
	13	6		児童の現状や保護者様のニーズを全職員で共通理解し、児童の最善の利益を考慮した検討をおこなうよう努めております。	
	14	6		個別支援会議などで計画内容を把握し、計画に沿った支援ができるよう職員で話し合い、児童の療育をおこなっております。	
	15	6		統一化されたアセスメントシートを使用し、アセスメントシートの内容をもとに支援計画の作成へと繋げております。	
	16	6		児童・保護者様のご意向や課題を踏まえたうえでガイドラインに沿い、支援に必要な項目を選択して具体的な支援内容の設定に努めております。	
	17	6		児童の特性や課題に応じて、活動プログラムを話し合い、常にチームで立案しております。	
	18	5	1	習慣化と定着をめざし、繰り返しの療育をおこないますが、日々の記録から進捗を確認し、児童の発達や成長に適した個別の課題を考えております。	今後、利用児童の意向に配慮したプログラムも取り入れ、楽しく意欲的に活動ができるよう工夫してまいります。
関係機関や保護者様との連携	19	6		個別療育を基本としておりますが、保護者様のご意向の聞き取り調査をもとに集団活動も取り入れ、児童の特性に応じた支援計画を作成しております。	
	20	6		毎朝、必ず打ち合わせをおこない、その日の支援の内容や役割分担、環境設定などをおこなっております。また、児童の様子を確認し、共通認識を図っております。	
	21	6		支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	
	22	6		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	
	23	6		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	
	24	6		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参画している	
	25	6		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	
	26	6		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているが、また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	
	27	6		就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	
	28	6		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等との連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っている	
保護者様への説明責任等	29	6		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている	
	30	6		（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	
	31	6		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けている	
	32	6		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会がある	個人情報の関係もあり実現できていませんが、保護者様のご意向も伺いながら慎重に検討してまいります。
	33	6		日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	
	34	6	2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	保護者様に不安や悩みごがある場合には、解決の糸口に不安や悩みごがある場合、保護者様のご意向も伺いながら慎重に検討してまいります。
	35	6		定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	
	36	6		児童発達支援計画を作成する際には、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ、児童や家族の意向を確認する機会を設けている	
	37	6		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	
	38	6		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援をしているが、また、きょうだいの同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	保護者様の個々のニーズをうかがい、ご意向を踏まえたうえで、保護者様同士の交流に関して協議・検討してまいります。
非常時等の対応	39	6		児童や保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	
	40	6		定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することや、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	
	41	6		個人情報の取扱いに十分留意している	
	42	6		随時のある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	
	43	6		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	個人情報の関係もあり実現できていませんが、保護者様のご意向も伺いながら慎重に検討してまいります。
	44	6		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	
	45	6		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている	
	46	6		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	
	47	6		食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づき対応がされている	
	48	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じた中で、安全管理が十分な中で安全が行われている	
49	6		児童の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ取組している		
50	6		ヒヤリハットが起きた際には報告書を作成し、職員間で話し合いの場を設けております。職員間での認識一致をすることで再発防止となるよう努めております。		
51	6		虐待防止委員会を設置し、虐待に関する研修を全職員がおこない、虐待防止マニュアルに沿って対応しております。		
52	6		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。